



NEWS RELEASE

報道関係各位

2014年1月28日

東京大学大学院情報学環
一般財団法人角川文化振興財団

東京大学大学院情報学環 角川文化振興財団 メディア・コンテンツ研究寄付講座 開設のお知らせ

東京大学大学院情報学環（※以下、情報学環）は、一般財団法人角川文化振興財団（※以下、角川財団）からの寄付により、「角川文化振興財団メディア・コンテンツ研究寄付講座」を開設いたしました。

現在、マンガ、アニメ、ゲームをはじめとする日本の文化的コンテンツは、世界で大きな注目を浴びています。一方でこれらの分野について、大学ではかならずしも学問的に深い研究が十分になされてきたとは言えません。本寄付講座は、東京大学がこれまでに蓄積してきた文化研究の方法を学際的に組み合わせ、第一線のクリエイターやコンテンツ産業の現場の担い手とコラボレーションし、アミューズメント・メディアを学問的に研究するための、新しい学術領域の開拓をめざします。

プロジェクト全体をアドバイスする特任教授として、マンガ・アニメの評論で知られる大塚英志氏を迎えます。さらにアジアや欧米で国際的に活躍する研究者・表現者のネットワークを構築し、日本のアミューズメント・メディア研究の基礎となる知のプラットフォームを立ち上げます。そして、その研究成果を、産業の現場や文化政策にフィードバックするとともに、学術シンポジウムの開催等を通じてひろく国際社会に発信し、世界規模での日本およびアジアのポピュラー文化の発展に寄与します。

教育面での活動としては、2014年夏より、海外の優秀な大学生・大学院生を広く受け入れるサマープログラムを実施し、東京大学の学生とともに、日本のアミューズメント・メディアをめぐる最前線の知を学ぶ機会を提供します。このプログラムを通じて、クラシック・ポップ両方の世界文化に深い教養をもち、真の「ソフト・パワー」の担い手となりうる人材（プロデューサー、キュレーター、若手研究者等）を育成します。

■主要推進メンバー（2014年1月28日時点）

大塚英志（批評家・まんが原作者／国際日本文化研究センター教授／東京大学大学院情報学環 特任教授）

石田英敬（東京大学大学院情報学環メディア・コンテンツ研究機構運営委員長 教授）

吉見俊哉（東京大学副学長／東京大学大学院情報学環教授）

■顧問

角川歴彦（一般財団法人角川文化振興財団 理事長／株式会社KADOKAWA取締役会長）



角川文化振興財団メディア・コンテンツ寄付講座キックオフシンポジウムの開催

来る3月11日に、本寄付講座の活動の口火をきる、キックオフシンポジウムを開催いたします。日本を代表するクリエイター、コンテンツ産業のキープレイヤー、国内外の代表的研究者が集い、日本のコンテンツ文化のポテンシャルや新たな学問的研究の可能性について討議します。

■シンポジウム概要

【日 時】 2014年3月11日 14:30～17:30

【場 所】 東京大学本郷キャンパス
情報学環・福武ホール B2 福武ラーニングシアター
東京都文京区本郷7-3-1

【登壇者】 川上量生
(株式会社ドワンゴ代表取締役会長／スタジオジブリ・プロデューサー見習い)

マーク・スタインバーグ
(コンコルディア大学教員、主著：*Anime's Media Mix: Franchising Toys and Characters in Japan*, University of Minnesota Press)

大塚英志
(批評家・まんが原作者／国際日本文化研究センター教授／東京大学大学院情報学環 特任教授)

角川歴彦
(一般財団法人角川文化振興財団 理事長／株式会社KADOKAWA取締役会長)

石田英敬
(東京大学大学院情報学環メディア・コンテンツ研究機構運営委員長 教授)

吉見俊哉 (東京大学副学長／東京大学大学院情報学環教授)

その他アニメ映画監督、内外研究者
を予定

※申し込み方法など詳細については、追ってご連絡いたします。
また本寄付講座ウェブサイトでも随時最新情報をお知らせいたします。
<http://kadokawa.iii.u-tokyo.ac.jp/>



<ご参考>

■サマープログラムとは

サマープログラムは、夏休み期間を利用して、通常の学期内では用意されていない科目の集中的な履修や、様々な体験型学習などをおこなう、大学の学生向けプログラム。欧米をはじめとした世界各国の大学で取り入れられており、東京大学でも積極的に開講を進めている。本寄付講座では、日本の文化的コンテンツに関する世界的な研究者を講師として招聘し、約2週間、海外から大学生・大学院生を受け入れて、東大生とともに学ぶことのできるサマープログラムを実施する。このプログラムでは、理論的な講義だけでなく、①さまざまなジャンルのクリエイターや制作者によるオムニバス講義、②体系的な手法にもとづいて創作を体験するワークショップ、③コンテンツ制作の現場やアーカイブ等へのフィールドワーク、を通して多様な観点から日本の文化的コンテンツへのアプローチを用意する。

■東京大学大学院情報学環とは

2000年に東京大学に設置された、文理融合型の大学院。「情報」をキーワードに東京大学全学と流動的に連携した、ネットワーク型の組織を特徴とする。現代のメディア文化についての学際的研究は、その柱の一つとなっている。また学問と社会との連携にも力を入れ、学外の組織や企業と、さまざまな共同研究を推進している。

■一般財団法人角川文化振興財団とは

1976年に角川書店（現在の株式会社KADOKAWA）の創立者角川源義の遺志によって創設。文学・歴史・映像芸術の研究及び優れた創作活動への支援・奨励などを行っている。近年ではマサチューセッツ工科大学メディアラボへの支援など、新しいデジタル分野への助成にも積極的に取り組んでいる。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

東京大学大学院情報学環 メディア・コンテンツ研究機構 担当: 滝浪佑紀
TEL03-5841-7907 / FAX03-5841-7907 / e-mail dh-info@iii.u-tokyo.ac.jp
<http://kadokawa.iii.u-tokyo.ac.jp/>